

「小樽市ふるさとまちづくり協働事業」 事業報告書

団体名	おたるヨガフェス実行委員会		
事業名	おたるヨガフェス		
実施期間	令和7年9月7日10:30～20:00		
事業の目的及び期待する効果	<p>自然豊かな小樽、銭函の環境の中で、ヨガを中心とした心身の健康づくりと、世代や立場を超えた交流の機会を創出することを目的として実施しました。</p> <p>本事業を通じて、地域の方々が安心して集い、心身を整えながらつながれる場を提供するとともに、地域住民や事業者との協働により、銭函エリアの魅力発信および地域活性化に寄与することを期待しました。</p>		
実施額	事業費	449,800円	助成額 294,700円
事業内容	<p>本年度は、オーンススキー場を会場とし、広大な野外空間を活かしたイベントとして実施しました。</p> <p>ヨガ未経験者でも気軽に参加できるよう、キッズヨガ、ファミリーヨガ、ビギナー向けの健康ヨガなど、多様なレッスンプログラムを構成しました。</p> <p>また、心身のリラックスをテーマに、瞑想入門やヒーリング音楽ライブも開催し、日常から離れて深くくつろげる時間を提供しました。</p> <p>子ども連れの来場者にも楽しんでもらえるよう、トランポリン等を設置したキッズエリアを充実させ、幅広い世代が安心して滞在できる環境を整えました。</p> <p>さらに、マルシェエリアを併設し、飲食・ドリンク・雑貨などを楽しめる場を設け、地域事業者や銭函周辺の方々と協力しながらイベント全体を上げることができました。</p>		

○事業の内容が分かる「資料やチラシ等」がありましたら添付してください

◎事業の日程について

月日	内容	想定事業効果 (参加人数等)	事業効果 (実績)
令和7年9月7日	おたるヨガフェス2025イベント実施	300名	400名

◎事業評価について

1. 事業の目的の達成度

(前ページに記載した「事業の目的」を達成することができたかどうか、反省点等も含め具体的に記入すること)

本事業は、当初掲げた目的を概ね達成することができました。

・健康促進

初心者向けのヨガプログラムを充実させたことで、幅広い年代の参加があり、「ヨガを始めるきっかけになった」という声が多く寄せられました。

・家族での参加促進

キッズヨガやファミリーヨガが好評で、家族単位で参加する来場者が多く見られました。

・リラクゼーション体験の提供

瞑想入門やヒーリング音楽ライブは特に評価が高く、心身の癒しを実感したという感想が多数ありました。

・空間演出と世界観

自然環境を活かした会場装飾により、錢函らしい自由で開放的な雰囲気演出できました。

・地域活性化への貢献

マルシェを通じて地域事業者の活動を来場者に知ってもらう機会となり、地域とのつながりを深めることができました。

2. 事業の効果（参加人数の面から）

（実績の参加人数は想定した人数の何パーセントだったか）※実績数÷想定数で計算

133.3パーセント

（上記の割合となった理由や上記の割合に対する自己評価などを記入すること）

理由および自己評価

参加者数が想定を上回った要因として、広大な野外会場による開放感と、多様なプログラム構成が挙げられます。

特に、キッズヨガやファミリーヨガなど初心者や家族連れに配慮した内容が参加のハードルを下げ、新規層の来場につながりました。

また、瞑想やヒーリング音楽ライブといったリラクゼーション要素が幅広い世代に支持され、天候にも恵まれたこと、地域に根ざした広報活動が動員増加に寄与したと考えています。

3. 参加した方々や、周辺の方々の満足度

（アンケートや聞き取り等によって把握した参加者の感想や反応を記入すること）※別紙による提出も可

アンケートや聞き取りを通じて、以下のような声が寄せられました。

1. 「キッズヨガのおかげで、家族みんなで楽しく参加できました。」
2. 「自然の中での瞑想はとても心地よく、心が落ち着きました。」
3. 「ヒーリング音楽ライブが印象的で、深く癒されました。」
4. 「マルシェで地元の食や雑貨を楽しめたのが良かったです。」
5. 「初心者向けヨガが分かりやすく、また参加したいと思いました。」
6. 「会場の雰囲気は素敵で、写真を撮りたくなる空間でした。」
7. 「子どもが遊べるエリアが充実していて、安心して過ごせました。」
8. 「家族で一緒に体を動かせる貴重な時間になりました。」
9. 「天候にも恵まれ、最高のロケーションでした。また来たいです。」

4. 今後の事業について

(1～3に記入した、事業の達成度・効果・満足度を踏まえ、来年度以降はどのような事業を行っていく予定か、記入すること)

本年度の成果を踏まえ、次年度以降は以下の点を強化していく予定です。

1. 運営体制の強化

駐車場案内や会場誘導スタッフの配置を見直し、より安全で円滑な運営を行います。

2. 広報活動の充実

SNSや口コミを活用し、市内外からの参加者拡大を図ります。

3. プログラム内容の充実

健康・リラクゼーションをテーマにした新たな企画を取り入れ、満足度向上を目指します。

4. 地域連携の深化

マルシェエリアを拡充し、地域事業者との協働をさらに進めていきます。